

# シルバー人材センターで 高齢者支援を

答 現在は考えていない



岡崎 晋 議員

**問** 国の少子化対策が加速する中で、令和4年度決算時の65歳以上高齢者と、0歳～中学生迄の人口割合はどうか。また医療費外のそれぞれの支出割合はどうか。

**町長** 人口割合と支出割合は別表のとおりである。

令和4年度決算の実績  
(高齢者と中学生までへの支出比較)

	65歳以上 高齢者	中学生 まで	支出全体 の割合
人口	7,536人	8,309人	
町全体の 割合	18.8%	20.7%	
老人福祉 費と保険 事業費	8億 9867万円		5.2%
児童福祉 費		45億 586万円	26%
幼小中 学校費		11億 3740万円	6%

※各金額は医療費を除く

**問** 高齢者が元気だと子や孫らが集まり賑やかで、まちの未来は明るいと考えるか。

**町長** そう考える。

**問** 高齢者の自主・自立・共働・共助で社会参加による生きがいの充実、認知症予防・介護予防・医療介護費抑制の為にぜひシルバー人材センターを創設してもらいたい。

**町長** すぐやる班等の三事業で実施しており、設置の考えはない。

**問** 社協のまちづくりサポートセンターの実質活動者は23名。沖縄市以南でシル

バー人材センターがないのは与那原町と本町だけ。なぜか。

**町長** あくまでも予想だが短期的なものでブーム的に各市町村がつつくと認識している。

## 野良猫対策に TNRM活動推進を

**問** 野良猫と放し飼い猫による被害実態はどうか。

**住民環境課長** 令和4年度は17件の被害相談があった。

**問** それを実態か。把握してる。

**住民環境課長** 相談件数として

**問** 餌やりをする人達にどんな責任があるか。

**住民環境課長** 排泄物処理・繁殖抑制・周辺住民への配慮責任がある。

**問** 避妊手術費を自己負担する人達が南風原町さくら猫の会を発足し、自治会だけが申請できるチケットを得られるよう嘆願書を提出した。どう対応できるか。

**住民環境課長** さくらねこ活動支援要綱を策定し、団体も申請できるよう取り組み、区長会・自治会と継続的に協力的体制を取っていく。

**問** TNRMは自治会でなかなかやれず、ボランティアも必要。自治会の実施奨励に向けて予算化できないか。

**住民環境課長** 経費の一部助成ができるか研究する。

(※1) T:捕獲し N:避妊手術し  
R:元の場所に戻して M:管理する  
(※2) さくら猫:避妊手術をし、耳先を桜型に小さくカットした猫